



# 超我の奉仕

2005～2006年度  
国際ロータリーのテーマ  
超我の奉仕

2005～2006年度  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

# Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：守谷 巖樹  
幹事：鈴木 幹雄  
会報委員長：長坂 邦雄  
例会日：毎週木曜日 PM12:30～  
会場：ヒルトン名古屋  
事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3  
ヒルトン名古屋910号  
TEL:052-211-3803  
FAX:052-211-2623  
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp  
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

## ▶ 第1246回例会

～職業奉仕・米山月間～

2005年10月12日(木) 晴 第14回

### ガバナー公式訪問:4RC合同例会

於：名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」

司会：(名古屋東南RC 長次 修会場運営委員長)  
斉唱：「奉仕の理想」  
ゲスト：2005～06年度第2760地区ガバナー 高橋治朗君  
2005～06年度第2760地区 地区幹事 川島 誠君  
(東南RC 大西弘高会長エレクト)

### ▶ 会長挨拶

名古屋東南RC 佐久間貞介会長

今年も昨年同様に、4RC合同でガバナーをお迎えしての例会となりました。ホストクラブとして、皆様にご案内を差し上げました所、約230名という多くの会員の皆様にご参加頂きまして、この様に例会が開催されます事、本当にありがたく御礼申し上げます。例会に先立ちまして、先ほど10時30分から4RC合同の会長・幹事懇談会を開催させて頂きました。それぞれのRCからクラブの現状や問題点等をガバナー、地区幹事にご報告申し上げました。後ほどガバナーから所感についてはお話し頂けると存じますが、本日の例会では、各RCのよかった点だけをお話し頂き、改善すべき点につきましては、後ほど結構ですので各RCにご指導頂ければと思います。



先ほど、点鐘を2回打たせて頂きましたが、皆様お気づきでしたでしょうか?今期私が会長になりまして、はじめて変えました事は、点鐘をならず回数を増やした事です。我が東南RCには、点鐘を3回打たれた方がいたという事です。特に片山会長の時に私は幹事をしておりまして、最後の挨拶の時に、是非誰か、この点鐘を色々な打ち方をして頂きたい、続けていただきたいというようなことをお話しされましたのを覚えております。そういうような訳もございまして、今年度につきましてはRCの基本である親睦・奉仕を思い出す意味も込めまして、2回点鐘させて頂いております。「今日ここに、我等の仲間楽しく集い」これが親睦の方でございます。「奉仕としての機会を数多く与えられますように」これが奉仕の方でございます。この2つの気持ちをこめまして、毎回2回の点鐘をさせて頂いております。そして、本日の終わりの点鐘につきましては、高橋ガバナーを初め、会員の皆様と今日お会い出来ました事を感謝致しまして、1回で締めさせて頂くつもりでございます。本日は1時間という大変短い時間ではございますが、4RCの懇親の輪を少しでも広げて頂ければと思っております。最後に、本日の高橋ガバナーをお迎えしての合同例会が皆様にとりまして、記念すべき例会になります事をご祈念申し上げます。簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。

### ▶ 出席報告

亀井直人出席副委員長

会員75名 出席45名 (出席計算人数55名)

出席率61.81%

10月6日は補填により 87.50%  
9月29日は補填により 96.43%  
9月22日は補填により 92.86%

### ▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

・10月6日の「第4回理事会」において、ガバナーからの要請を受け、「カトリーナ・ハリケーン災害救援募金」として、1人あたり1,000円、計75,000円をニコボックスから拠出する事に決まりましたのでご報告申し上げます。

### ▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		11/3(木)※		
名古屋南	10/26(水)※	11/2(水)		
名古屋東	10/24(月)			
名古屋守山	10/26(水)		11/9(水)	
名古屋東南	10/26(水)		11/9(水)	
名古屋中	10/24(月)			
名古屋和合		11/2(水)		
名古屋名東	10/25(火)※			
名古屋大須	10/27(木)	11/3(木)※		11/17(木)※
名古屋栄	10/24(月)◆			
名古屋名南		11/1(火)◇		
名古屋名駅	10/26(水)			
名古屋昭和			11/7(月)	
名古屋西南	10/27(木)	11/3(木)※		
名古屋錦	10/25(火)			11/15(火)
名古屋東山		11/3(木)※		11/17(木)※
名古屋空港				11/14(月)
西春日井				11/15(火)
尾張中央			11/9(水)※	11/16(水)※
豊山一城北	10/25(火)			
名古屋葵		11/3(木)※		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

### ▶ 会長・幹事会

例会前10時30分より、高橋ガバナーおよび川島地区幹事をお招きして、会長・幹事会が開催され、大変有意義なご指導を賜りました。(当クラブ出席者・守谷会長、鈴木幹事)





- ・ガバナーをお迎えして。10月19日は私の誕生日、10月28日は結婚記念日です。 **森 真佐雄君**
- ・10月6日、ハンガー・フリー・ワールド吉田千代子さんに卓話をお願いして。ガバナーをお迎えして。 **大島 浩嗣君**
- ・10月8日、偶然高橋ガバナーに荘川高原でお目にかかりました。

- ・4RC合同例会、ご苦勞様です。 **鈴木 幹雄君**
- ・ガバナーをお迎えして。 **大和 哲郎君**

中川啓二朗君	高須 洋志君	近藤 雄亮君
布目 徳君	鈴木 圓三君	高木 勝君
堀 慎治君	松岡 道弘君	渡辺喜代彦君
田中 政雄君	岩田 吉廣君	近藤 洋輔君
倉澤 寛君	田口 豊君	大川 嘉成君
稲葉 徹君	守谷 巖樹君	岡本 忠史君

乾杯

守谷巖樹会長

大変高い所から失礼致します。ご指名を頂きましたので乾杯の音頭をとらせて頂きます。本日は高橋ガバナーをお迎えしての4RC合同例会でございます。4RCがますます発展致します事と、本日ご出席の皆様のご健勝を祈念致しまして、乾杯を致したいと思います。声高らかにお願いします。乾杯!



卓話 2005~06年度 第2760地区ガバナー 高橋治朗君

「ガバナー講話」

本日は4RC合同例会という事でご無理をお聞き届け頂きましてありがとうございます。今年は万博や、色々な行事があり、ご不便をおかけしましたが、逆にこういった機会がないと顔を合わせない方もいらっしゃるわけですから、大いに旧交を温めていただくというチャンスをお使い頂ければと思います。また万博につきましては、皆様にご協力を頂き、おかげをもちまして愛知万博に来場した2200万人のうちの0.1%にあたる約2万2,000人ほどの方がロータリー館をご利用いただいたこととなります。現在最後の集計を行っており、まとまりましたらご報告を申し上げます。



先ほどは、各RCの会長・幹事と1時間ほど懇談会を開きましたが、奉仕の事や青少年問題、海外援助など大変力を入れていらっしゃるし、国内的にもホタルの飼育や、環境問題にもお心配りをいただき、そういった意味でもRCとしての本分を全うされているのではないかと大変尊敬しております。

今年のテーマは「超我の奉仕」ですが、昭和14年に米山梅吉氏が、仙台RCが出来た際、チャーターメンバーとして仙台中央放送局から30分間放送をしました。その時に言った言葉を、米山梅吉氏の自伝から簡単にご紹介致します。「交わりを広くして、公私の機会に応ずる事、実業及び専門職業の道徳水準を高め、有用なる業務の価値を認めてその尊厳を守る。もって社会に奉仕する事。個人としての業務関係並びに社会共同生活の上に、常に社会奉仕の理想の実現を期待する事。奉仕の理想を持って結合し、実業及び専門職業として世界的和合・親善、ひいては国際平和の促進を期せる事。このロータリーの精神はいたずらに道義をといてこれを真意状態に留めるだけでなく、その実現を期するためサービスあらん。すなわち奉仕を要望するものである。」サービスというものは相手の事を考え行動する事、それが本当の奉仕ではないかとおもいます。今年は101年目に入り、RCも新たな世紀を迎えたという事で、ステンハマー氏が「原点に戻る」という意味で今年度のテーマを決めた訳ですが、日本でも米山氏が普通の言葉として使われました。改めて「これが超我の奉仕である」という奉仕はありません。今日各クラブにお伺いしましたが、色々な面で奉仕をしている訳ですから、その奉仕を徹底し、奉仕を受ける側が感激し、喜んで素直に受ける。そして受けた恩を周りへ還元していく。そういった形で奉仕の輪が広がってい

けば、その元となった奉仕こそがロータリー精神の、奉仕本来の意味だと感じられます。そういった意味で、例会にしても、お互いに助け合って新しく入った人を助けたりすると言う事が、新しい仲間を増やす由縁でもある訳ですから、1日相手のために尽くしたり、相手が喜ぶように考えたりする事が自ずとそういった行動に移るのではないかと思います。

今年の2月、アナハイムでガバナー研修会が1週間行われました。2月23日がロータリー100周年の記念日で、いつもならば朝8時30分から、夜5時30分ぐらいまで講義があり、色々な難しい話を聞く訳ですが、その日は11時頃に講義が終わり、その後は勤勞奉仕をする事になりました。スープやソーセージなど、色々な種類の缶詰を詰めて1セットになるようにし、それを福祉施設に送るという事でした。そうして作業をしておりましたら、ステンハマー氏がいらっしやり、「この奉仕作業で1人当たり20ドルの節約で、全部で1万ドルほどの節約になりました。このお金はまたどこかに寄付をします」とおっしゃり、そこにいた全ての人が手をたたき合って喜びました。

最近公共イメージの件がありますが、100周年の記念行事が6月にシカゴでありました。記念行事が行われた1週間、WHOやユニセフ、CDCというアメリカの貿易センターが、ロータリーに対しての感謝の意を込めた新聞広告を毎日掲載しました。これは1985年からポリオ撲滅運動が始まり、2004年には1年間で1200人にまで激減しました。WHOや他国政府、ユニセフなども活動をおこなった訳ですが、その中でもロータリーが非常に献身的に活動をし、約20年間で6億ドルのお金を供与したという事への感謝です。シカゴの一般紙にその旨が掲載され、市民の方々もロータリーの活動を知る事により、好意的な見方をしてくれます。シカゴでありました100周年記念の時のように、新聞広告として大々的にロータリーの活動が掲載されますと、ロータリーはどういった団体なのかを知ってもらうよい機会になるとおもいます。ポリオに関しては、最終的に発症国が6カ国残っております。ステンハマー氏も、ポリオ以外のプログラムは立ち上げず、ポリオ全滅に全力を尽くすという事です。我々も財団を経由し、世界の子どもたちや世界の未来に対して投資をすると思って、是非とも財団をご活用頂きたいと思ひます。

それから水の問題が出ておりましたが、10月に入ってから、大阪でフォーラムがあり、ザンビアの元大使を招いてお話しを伺いました。井戸のない地域では、5~15歳の子供が遠く離れた水源まで水を汲みに行くのだそうです。その間、勉強をする事は出来ません。水の問題と共に識字率もなかなかあがらない、といったお話しをされ、是非ともロータリアンの皆様に政府やODAを通じて援助をお願い致します、とおっしゃいました。援助ルートに関しましては、財団を通して援助する方法や、各クラブで井戸を掘ったり、学校を建設して寄付したりする事も出来ますので、有効かつ目に見える形で活動をおこなって頂きたいと思ひます。実際には、各クラブで個別の活動を継続しておこなうのは困難な面もあります。大きな事業を行うのは財団経由で、各クラブでは出来る範囲で進めて頂く、それが「超我の奉仕」ではないかと思ひます。

日本における教育の問題ですが、近年若者による犯罪が急増しており、学校教育だけでなく、家庭における役割を重視していかなければならないのではないかと思います。身近な所では、会員の各家庭で子供や孫に、自分の経験を話して聞かせる、やっていい事と悪い事をしっかりと教えて行く事が大事ではないかと思っております。入学前や、入学して間もない頃であれば、勉強を教える事も出来ますし、新聞を読んだり雑誌を読んで、書いてある事について深く考え、行動に移すというような教育は、家庭で愛情持って教えるのが一番だと考えております。そういった点で日本の識字率は孫の教育にかかっていると常々申しております。

今週卓話 10月20日(木)

会員卓話：堀 慎治君

テーマ：「オゾン層保護と温暖化について」

次週行事 10月27日(木)

職場例会：12:00より

於：「内藤記念くすり博物館」